

特集！

発行：青森県教育庁教育政策課学校の幸せ推進室（〒030-8540 青森市長島1-1-1）

伴走型支援事業
R6年度実施校の
取組紹介！

今号から2回にわたって、令和6年度学校業務改善伴走型支援事業について特集します。小学校4校、中学校5校、高等学校2校の計11校が外部コンサルタントの支援を受けながら、主体的に業務改善に取り組んできました。今回は、小・中・高合わせて6校の取組等を紹介します！「今年度、我が校でも実施したい！」という学校は、ぜひお申込みください！

申込はこちら！

◆メニュー1【業務改善校内ワークショップ】
コンサルタントや教育委員会職員が学校を訪問し、学校の課題や課題を解決するための方法について、教職員みんなで話し合うワークショップ（60～90分）を行います。

◆メニュー2【研修会等への講師派遣】
「働き方改革や業務改善に関する研修をやりたい」という団体（校長会・教育研究会等）に、講師を派遣します。

※下のQRコードからお申し込みください。令和8年2月まで随時受付中です！



弘前市立 第三大成小学校



◆取り組んだ内容は？

- ・校内研指導案を細案から略案に変更。
- ・日々の一人勉強ノートを廃止。
- ・チーム担任制（5・6年体育合同実施）の導入。
- ・余剰時数の見直しを図り、5時間学習（1年は4時間学習）の日を各学年週1日ずつ設定。
- ・前期通知表の学級担任所見欄の廃止。
- ・1学期末と2学期末の参観日を授業参観のみとし、学年・学級懇談を実施しない。
- ・日課表を見直し、下校時刻を15分早めた。

◆他校にお薦めしたい取組は？

- ・日課表と余剰時数の見直しを図ることで、教師の日々のゆとりを創出。指導案の書き方の見直しや、授業を自由に見合える校内研修により授業力を向上。

◆他校に気をつけてほしいポイントは？

- ・先生方がいかに子どもたちと向き合う時間を多くするかが大切である。



◆今後取り組みたいことは？

- ・子どもと向き合う時間の確保。
- ・教材研究の充実。

◆この事業に取り組んだ感想は？

- ・令和7年の教育活動を進めるにあたり、多くの改善により先生方が余裕を持って教育活動ができると確信している。コンサルタントからの言葉「先生方に余裕が生まれると教育活動が充実する」が印象的だった。わかってはいることだが改めて大切だと感じた。管理職が働き方改革を主導しなければならないと考えていたが、そうではなかった。先生方の困り感やアイデアを基に「自分たちでなんとかしよう」という意識を持ちながら、ボトムアップで進めることができた。更に「自分たちで思ったことを言ってもいいんだ」という雰囲気を醸成できたことが、大変収穫だった。

十和田市立 北園小学校

◆取り組んだ内容は？

- ・日課表（R7）の見直し。清掃回数を1回減らし、下校時刻を20分早めた。
- ・退勤時刻（20時には全員退勤）を設定した。
- ・委員会活動、総合的な学習の時間、宿題など各種教育活動の目的を確認し、内容を見つめ直した。
- ・欠席連絡、お便り、アンケートなどについてアプリを活用した。



◆他校にお薦めしたい取組は？

- ・働き方についての課題の洗い出しと共有。

◆他校に気をつけてほしいポイントは？

- ・総退勤時刻の設定では職員の意向にも配慮。

◆今後取り組みたいことは？

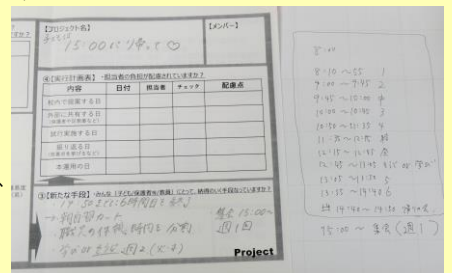
- ・新しい日課表の検証。
- ・授業改善・充実、家庭学習など学びの転換。

◆この事業に取り組んだ感想は？

- ・ややもすれば際限なくやってしまう業務を見直したり、精査したりなど、先生方の意識が変わってきた。自分の人生やライフデザインについて考えるきっかけにもなった。

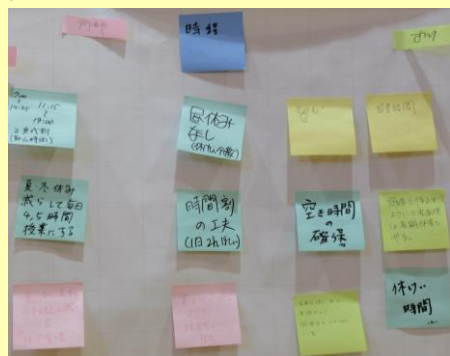


↓テーマ毎グループによる作戦会議で活用したワークシート



野辺地町立 野辺地中学校

↓職員全員で出し合った業務改善のアイデア



◆取り組んだ内容は？

- ・教育課程の見直し。
- ・日課表の見直し。
- ・清掃の見直し。
- ・出欠連絡やお便りの配信にテトルを活用。
- ・学校行事（実施・内容）等の検討。
- ・職員室に大型モニターを設置し、職員の出張や休暇、生徒の出欠・行事等の情報を共有。



◆この事業に取り組んだ感想は？

- ・伴走型支援事業を行ったことで、仕事に対する意識や考えに変化が生まれた。
- ・自分たちの気持ち一つでやれることがあることや今あるものをちょっと工夫することで、時間が生まれることの気づきがあった。
- ・新しいことをちょっと変わった視点で考える話合いが良かった。



八戸市立 第三中学校

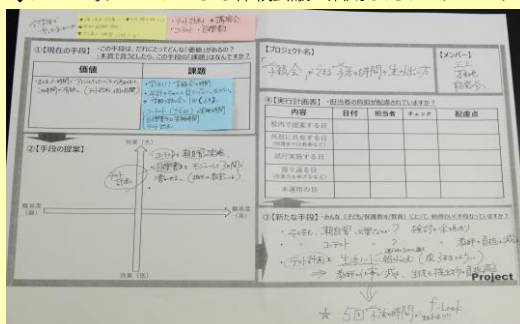


◆取り組んだ内容は？

- ・学校全体の業務の見直し。
- ・業務改善に係る教職員アンケートの実施。
- ・欠席連絡やお便りの配信にテトルを活用。
- ・職員朝会の廃止。
- ・学活の時間の内容改善。(話し合い活動の充実)



↓テーマ毎グループによる作戦会議で活用したワークシート



◆他校にお勧めしたい取組は？

- ・欠席連絡及び保護者向け文書の配信。

◆他校に気をつけてほしいポイントは？

- ・「ねらいは何？」という視点を忘れない。

◆今後取り組みたいことは？

- ・休憩時間の弾力的な運用の検討。
- ・平日行事開催の継続。

◆この事業に取り組んだ感想は？

- ・先生方に「ねらいは何？」といった会話が日常に出てくるようになった。
- ・ワークショップでの不登校対策がテーマの話合いで、「わかる授業づくりが大事だね。」という意見が上がっていたことが、とても嬉しかった。



平内町立 平内中学校

◆取り組んだ内容は？

- ・清掃活動を週5回から週2回に削減し、帰りの会終了を10分早めた。
- ・5時間授業を週2回(月・木)設定。
- ・生徒が宿題内容をタブレットで写真を撮って持ち帰ることで転記する時間を短縮した。
- ・ローテーション道德の部分的な実施。
- ・業務改善のための校内ミーティングを定期開催。(職員会議後30分間)



◆他校にお勧めしたい取組は？

- ・週2回の清掃活動。

◆他校に気をつけてほしいポイントは？

- ・反対意見にも耳を傾けること。

◆今後取り組みたいことは？

- ・ICTを利用した一人勉強。
- ・行事の見直し(中体連報告会・運動会)。
- ・時程の見直し(生徒登校時刻・朝読書時間)。
- ・自動採点システムの導入。
- ・定期考査の回数削減(各学期1回に)。

◆この事業に取り組んだ感想は？

- ・最初は何をしたらよいかわからなかったのが、用心したり面倒だなという気持ちであったが、先生方がワークショップを通して日頃感じていることや気になっていることを共有できる場が設けられ、大きな効果があった。業務改善は学校独自でと言われるが、必要があればアドバイスをくれるなど、いろいろな方たちからの支えがあってうまくいくことを実感できたのが嬉しかった。また、「何を言っても大丈夫」という雰囲気づくりはプラスになった。今までは、「言われたことをやればいい」「管理職で考えたことをやります」から、「自分たちが考えたことで変えられる」へ変わった。いい経験ができ、やってよかった。



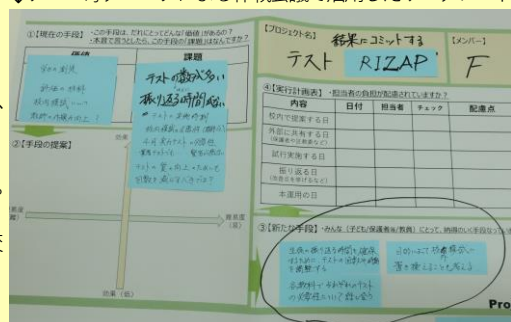
青森県立 八戸高等学校

◆取り組んだ内容は？

- ・ワークショップ、運営委員会、職員会議、学年・分掌会議、有志の会など、業務改善についての協議、共有の場の設定。
- ・欠席連絡、各種調査、採点業務、校内情報共有のICT化。
- ・R7校内模試(3年6月)の廃止。
- ・R7校内模試(2年10月)の縮小。
- ・R7平常講習(3年6月)の縮小。
- ・R7面談週間(4月2週間・短縮校時)の設定。
- ・R7担任以外との面談システムの構築。



↓テーマ毎グループによる作戦会議で活用したワークシート



◆他校にお勧めしたい&他校に気をつけてほしいポイントは？

- ・理念の浸透。
- ・トップダウンではない議論の広がり(変化を厭わない雰囲気づくり)。

◆今後取り組みたいことは？

- ・部活動の精選。
- ・校時表及び教育課程の検証(見直し)。

◆この事業に取り組んだ感想は？

- ・普段思っていることを吐き出すことができた。また、同じように考えている先生方と話ができて、改善していく方法があるような気がした。
- ・シートを読むと、違うアプローチ(テーマ)からでも似たような話題に収まっていたと感じた。多くの教員が課題として抱えていたのだと思う。
- ・ほんの短い時間であったが、八高改善のための良いアイディアが色々出された。とりあえず改善してみて、検証しても良いのではないかなと思う。
- ・学習活動に関して、やることを減らしていくには、合わせて我々教員の教えるべき事柄・内容の精選もセットで行わなければならないということをしごく考えさせられた会になった。